

「車座」



会報の「会からのお知らせ」に「車座」が紹介されますよね。年に4回行われているようですが、これってどんな集会なのでしょう？

新潟市総合福祉会館にあった「(旧)障がい児・者相談支援センター」の相談支援専門員を経て、現在は「あおぞらポコレーション」でお仕事をされている本田ゆり子さんを囲み、参加者が思いを話す会で、もう10年以上続いています。本田さんは、どんな内容の話でも親身に受け止めてくださり、長い職歴の中から参考になる事例や、参加者の肩の力がふっと抜けるようなアドバイスをしてくださる方です。



隔月で行われる運営委員会が終わった後に「フリートーク」が行われていますが、「フリートーク」とどこが違うのでしょうか？

「フリートーク」は、それぞれの思いを自由に話す感じですが、「車座」は、本田さんが、参加した方みんなが話しやすいように進行してくださり、提供された話題について、参加者が互いに関わり合って話せる場を作ってくださいます。本田さんは「参加している人同士が励ましたり、励まされたりすることが車座の良さですね」と話されていますが、自分の悩みを相談しながらも、参加者の悩みに助言している、というように、みんなが輪になって思いを共有できるのが「車座」なのです。



初めてでしたが、悩みを相談していたはずなのに、いっぱい笑えて、スッキリしました。他の人の話を聞いて、視野が広がった感じがします。



私は、何度も参加していますが、本田さんが子どもの成長や、親としての関わりを、毎回褒めてくださるので、心がほんわかします。